

## 自立活動 学習指導案（情緒障がい等）

日時 令和〇年〇月〇日（〇）

第〇校時

〇中学校 第3学年

- 1 生徒 ○（第3学年）
- 2 指導者 ○
- 3 単元名 「自分に向き合い、自分の将来を考える」  
（本時）様々な職業について考えよう

4 生徒の目標

- ・働く上でコミュニケーションをとることの大切さを知ることができる。【2（2）3（4）6（1）】
- ・他者に目を向けることができる。【3（1）6（1）】
- ・自分の興味と異なる職業について考えることができる。【3（3）4（5）】

5 展開（指導者をT、生徒をSと表す）

	学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導 入 7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業の時間に見通しをもつ。</li> <li>・記録カードに日付や曜日、今日の気分等を記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業について確認し、この時間の終了時間を決める。</li> <li>・イラスト帳を持って来ていた場合は、授業の最後にイラストを先生に見せる時間（自己表現の時間）をとるので、イラスト帳を閉じるように伝える。イラストを見せる時間を決める。</li> <li>・記録カードに書かれた内容を基に会話し、本時の生徒の気分や状況を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録カード</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が将来なりたい職業は何かを話す。</li> <li>・4種類の職業名とその職業のイラストが書かれたカードを見ながら、それぞれの職業について知っているか答える。</li> <li>・知らない職業について仕事の内容を予想する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的に話を聞き、Sの考えを受け止める。</li> <li>・提示する4種類の職業は、仕事の特徴がそれぞれ異なるものを用意する。Sの興味がありそうな職業とSが興味なさそうな職業を入れるようにする。（イラストレーター・保育士・サッカー選手・消防士）</li> <li>・予想させた後に、どのような仕事なのか簡単に説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業名とイラストが書かれたカード</li> </ul>

<p>展 開 33分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知っていると言った職業について、その職業はどのようなことをする仕事なのか、知っていることを答える。</li> <li>・Sが知っていた職業の中から2つの職業を取り上げ、どのような人がその職業に向いているかを考える。</li> <li>・①の職業の仕事内容について確認する。</li> <li>・①の職業についてどのような人が向いていると思うか、考える。</li> <li>・①の職業に向いている人の特徴を見て、自分がその仕事に向いていそうか考える。</li> <li>・なぜ向いている（向いていない）と思ったのか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Sがそれぞれの職業の仕事内容を正しく捉えられているかを確認する。</li> <li>・Sの発言内容のキーワードを職業名と職業のイラストが書かれたカードの下にTが板書する。</li> <li>・正しく捉えられていなかった場合は、Sが理解できているか反応を見ながら簡単な言葉で説明する。</li> <li>・取り上げる職業は、Sが知っていた職業の中から、 <ul style="list-style-type: none"> <li>①Sが1番興味をもった職業またはSが自分に向いていると思う職業(予想としてはイラストレーターか保育士)</li> <li>②①の職業とは仕事の特徴が異なり、Sの興味が向かない職業(予想としては消防士かサッカー選手)</li> </ul> を選ぶ。</li> <li>・職業のカードの下に書いた板書を基に、仕事の内容を確認する。</li> <li>・考えを肯定的に受け止める。</li> <li>・全く考えが浮かばない場合は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>○発問を変える。</li> <li>○その職業についている人の写真や絵を提示し、そこから思い浮かぶイメージを尋ねる。</li> <li>○それでも考えが浮かばない場合は、Tが例を出す。</li> </ul> </li> <li>・言葉が出てこず、どのように言ったらよいか分からない場合は、Sの発言を聞きながら、Sが言いたいことに合いそうな言葉をTがいくつか提示し、その中から選ばせる。</li> <li>・出た考えをTが色のついたカードに書き黒板に貼っていくことで、Sが自分の考えを視覚的に整理できるようにする。</li> <li>・Sから出なかった考えについては、Tが提示することで、考えが広がるようにする。</li> <li>・発言を肯定的に受け止める。</li> <li>・ネガティブな発言が出た場合は、Sが自分の良い面に目が向けられるような声かけをしながら、自分の課題に目を向けられていることを褒める。</li> <li>・職業の特徴と自分の特徴を挙げて考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Sの考えを書くカード</li> </ul>
------------------------	---	--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ学年の人の中で①の仕事に向いていそうな人はいるか考える。</li> <li>・②の職業の仕事内容について確認する。</li> <li>・②の職業についてどのような人が向いていると思うか、考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に名前が挙がらない場合は、同じクラスの人に絞り、クラスの人の写真を見せながら考えることや、職業の特徴を振り返りながら、その特徴に当てはまる人を考えさせる。</li> <li>・職業の特徴の1つにその人が当てはまっているだけでは、その人がその職業に向いているとは限らないということにも気づけるようにする。</li> <li>・職業のカードの下に書いた板書を基に、仕事の内容を確認する。</li> <li>・考えを肯定的に受け止める。</li> <li>・全く考えが浮かばない場合は、 <ul style="list-style-type: none"> <li>○発問を変える。</li> <li>○その職業についている人の写真や絵を提示し、そこから思い浮かぶイメージを尋ねる。</li> <li>○それでも考えが浮かばない場合は、Tが例を出す。</li> </ul> </li> <li>・言葉が出てこず、どのように言ったらよいか分からない場合は、Sの発言を聞きながら、Sが言いたいことに合いそうな言葉をTがいくつか提示し、その中から選ばせる。</li> <li>・出た考えをTが色のついたカードに書き黒板に貼っていくことで、Sが自分の考えを視覚的に整理できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの人の写真</li> </ul>
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①と②の仕事に向いている人の特徴を見て、思ったことを言う。</li> <li>・時間があれば、今回取り上げなかった職業についても、どのような人が向いているかを考える。</li> <li>・職業について考えた中で、新しい発見はあったか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①と②の仕事の違いだけでなく、どちらの仕事にも共通する力は何か考えられるように発問する。</li> <li>・板書した中のコミュニケーション力に関わる言葉を色で囲んで強調し、どの仕事につくとしても、「人と関わるコミュニケーション力」が必要だということに気づけるようにする。</li> <li>・どの職業でも「コミュニケーション力」が必要だということに気づけるようにする。</li> <li>・発言を肯定的に受け止める。</li> <li>・Sがこの授業の中で考えたことや分かったことは何かを捉えるようにする。</li> </ul>	
自己表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラスト帳に描いた絵をTに見せて説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描かれたイラストを肯定的に受け止めることで、自信が持てるようにする。</li> </ul>	

## 6 評価

- (1) 働く上でコミュニケーションをとることが大切だと知ることができたか。
- (2) 自分の身の回りの人のことについて考えることができたか。
- (3) 自分の興味と異なる職業について考えることができたか。